

◎グループ
長所対決!! から探る未来の高知
 ~「高知で暮らしたい」vs「県外で暮らしてみたい」~

高知県立大学 栗田 紗季 / 高知工科大学 坂本 一悟 / 高知大学 長野 竜也



私たちは、「長所対決!!から探る未来の高知」というテーマでディスカッションしました。まず、「高知のいいところ」と「県外のいいところ」を挙げていきました。

「高知のいいところ」としては、食が挙がりました。例として、北川村のゆずであったりと、高知県には新鮮な食べ物が多いです。



次に自然が挙がりました。大豊町では冬には積もった雪で遊べたり、高知には、きれいな川があるといった魅力があります。他には、田舎に行くとお裾分け文化があり、玄関に食べ物が置いてあるなど、人と人のつながりが近いという意見が出ました。

子育てについては、高知県では子育ての補助が手厚く、無料になる制度があるなど、子育てがしやすい環境があることが、良いところだと思います。



「県外のいいところ」では、主に交通の面が大きいです。新幹線など、多くの交通手段があり、レジャー施設に行きやすく、遊ぶ場所や楽しみも多いということです。

あとは、高知と共通して食が挙がりました。高知も美味しいものが多いですが、県外ではお店がたくさんあるということが良いところとして挙がりました。

私たちのグループの結論としましては、「VS」としてはありますが、勝ち負けではなく、共存が大事なのではと考えました。高知の強みである自然、県外の強みである交通、これは持ちつ持たれつで、相互作用でどちらも活かされているのではないかなと思います。

私たちの結論は「共存」です。

